**令和元年度第5回運営推進会議**

**日時：令和2年1月27日（月）14：00～**

**場所：菜の花小規模多機能ホーム**

**1・開会**

**2・委員の紹介**

**3・報告　利用状況について**

**別紙資料に基づき説明行う**

**4・菜の花小規模多機能ホーム行事報告等**

**5****・今月の計画**

**6・意見交換（今後の課題について）**

**3・利用状況報告**

**11月・12月末利用状況**

**令和元年12月末現在登録者数　男性6名　女性10名**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **要支援1** | **要支援2** | **要介護1** | **要介護2** | **要介護3** | **要介護4** | **要介護5** | **合計** |
| **11月** | **0** | **1** | **2** | **7** | **2** | **5** | **0** | **17** |
| **12月** | **0** | **1** | **3** | **6** | **1** | **5** | **0** | **16** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **11月** | **12月** |
| **通いサービスの提供回数** | **233** | **263** |
| **訪問サービスの提供回数** | **245** | **242** |
| **宿泊サービスの提供回数** | **197** | **229** |
| **合計** | **675** | **734** |

**現状報告**

　**11月、12月の現状報告です**

**11月5日****泊り****利用者****女性****1名の方が****状態悪く入院とな****るも**

**11月18日退院し利用再開され、12月20日、登録終了しています。**

**11月28日訪問サービス利用女性1名の方が退院し登録再開されております**

**12月1日新規利用者****男性1名の方が泊り利用されております。**

**12月25日泊り利用者男性1名の方が登録終了しています。**

**泊り利用者女性が11月１日より要介護2～要介護4に登録変更になりました。**

**4・行事報告**

**大寒に入り寒さが身にしみる時期になりました**

**11月、12月の行事報告をいたします。**

**11月****3日、4日 那賀川町秋桜見学実施**

**11月5日、　　避難訓練実施**

**12月18日、クリスマス会、あらたのこまちの方による「踊り、歌」**

**12月20日、正月用の生け花を職員と利用者全員で生けました。**

**5・****計画**

**１月、****新年会**

**6意見交換（今後の問題について）**

**「大寒」これから冬の中でも最も厳しい寒さが訪れます**

**コロナウイルス【corona virus】**

コロナウイルス科に属する一本鎖 RNA ウイルス。哺乳類・鳥類にさまざまな疾患を引き起こす。 〔ウイルス粒子の表面に長い突起があり、太陽のコロナのように見えることから〕

**コロナウイルス
ころなういるす
Coronavirus**

コロナウイルス科に属する[RNA](https://kotobank.jp/word/RNA-28137)ウイルス。1965年にかぜ患者から見つかった。直径80～160ナノメートル（ナノは10億分の1）で、ウイルスとしては大型の部類である。コロナとは太陽表面の光冠のことで、王冠も意味する。球形で周囲に先端が丸くなったスパイク状のとげがある形がコロナを連想させることから命名された。哺乳(ほにゅう)動物や鳥類にそれぞれのウイルスがいる。ニワトリとラットのものは人間同様に呼吸器症状が中心のかぜウイルスであるが、ウシ、ブタ、イヌなどのものは胃腸炎をおこす。人間のコロナウイルスは血清型で少なくとも4タイプに分かれる。感染は子供は少なく、成人が中心で、冬のかぜの10～25％はコロナウイルスが原因といわれる。ボランティアによる接種実験では、2～4日の潜伏期の後、鼻汁(はなじる)、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛みなどがおきるが、熱はあまり高くならず、6～7日で回復する。重症急性呼吸器症候群（SARS(サーズ)）の原因として新型コロナウイルスが特定されたが、このウイルスは高熱、さらには肺炎に進行し、比較的健康な人でも死亡することから、これまでのコロナウイルスの性質とは大きくかけ離れている。世界保健機関（WHO）は2003年4月、この新型コロナウイルスをSARSコロナウイルスと命名した。コウモリコロナウイルスが変異し、ハクビシンなどの動物を経て人に感染するようになったと考えられている。2002年から3年にかけ8098人に感染、774人の死者を出した。
　また、2012年には、中東呼吸器症候群（MERS(マーズ)）の原因としてSARSコロナウイルスと近縁の新種であるMERSコロナウイルスが見つかった。やはり別種のコウモリから見つかっており、コウモリまたはラクダを介しての感染が疑われている。濃厚接触感染のため、SARSコロナウイルスに比べると感染力は低い。
**病因**
　コロナウイルスは，コロナウイルス科に属するプラス[一本鎖RNAウイルス](https://kotobank.jp/word/%E4%B8%80%E6%9C%AC%E9%8E%96RNA%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9-1995994)である．ウイルス粒子は直径100〜200 nmの楕円形ないし不整形で，表面に特徴的な“王冠”様のスパイクをもつエンベロープを有することから“コロナ”ウイルスと命名されている．動物のコロナウイルスには多くの種類があり，ブタなどの家畜やペット，家禽類などの動物に呼吸器系以外にも消化器系や神経系の病気を引き起こす．従来ヒトから分離されていたのはHCoV-229EとHCoV-OC43の2種類で，いずれもかぜ症候群の原因ウイルスとして知られていた．コロナウイルスは，血清型によって3群に分類されており，HCoV-229EはI群に，HCoV-OC43はⅡ群に属している．
　SARS-CoVは，ウイルス遺伝子の解析結果よりこれまで分類されている3群のいずれとも異なる新型のコロナウイルスであることが証明された．すなわち，既知のコロナウイルスの間で遺伝子組換えが生じたのではなく，まったく新たなコロナウイルスがヒトの病原体として登場したと考えられている．自然宿主は野生のコウモリであるとする説が有力であり，これが動物市場で広がった後にヒトへ感染したと考えられている．ヒト-ヒトの感染環が成立するために，どのような適応変化を起こしたのかについてはよくわかっていない．
　2004年以降に新たに発見されたヒトコロナウイルス（HCoV-NL63・HCoV-HKU1）は，上気道炎および下気道炎を引き起こすことが報告されている．．
**合併症**
　ヒトコロナウイルス（HCoV-229E/OC43）の感染によって，気管支喘息や慢性気管支炎の急性増悪がみられる場合がある．細菌の二次感染による中耳炎や副鼻腔炎も起こり得る．また，壊死性腸炎や多発性硬化症などとの関連も示唆されている．
**治療・予防**
　ヒトコロナウイルス（HCoV-229E/OC43）感染症およびSARSに対する特異的な治療薬や有用性が確立したワクチンはない．SARSの治療に関しては，先の流行時に経験的に使用されたステロイドやインターフェロン，プロテアーゼ阻害薬などの有効性についてはさらなる検証が必要である．また，SARS-CoVの標的細胞の特異的受容体であるangiotensin-converting enzyme 2（ACE-2）やプロテアーゼなどの酵素を標的とした特異的な薬剤の開発についても検討されている．
　SARSが再流行した場合には患者多発地域からの帰国者を一定期間，経過観察するなどの対応や，院内感染の拡大を防ぐために，手洗いやグローブ着用のほか，N95マスクの使用などを含めた厳重な感染予防対策が必要である